



2024年7月の支部総会は 三和裕美子商学部教授をお招きして講演会

2024年7月6日(土曜日)14時から、秋田キャッスルホテルを会場に、秋田県支部の支部総会を開催します。総会終了後15時30分から講演会を予定しています。

コロナ禍でたびたび延期してきた講演会ですが、ようやく実現する運びとなりました。講師は、三和裕美子商学部教授。

研究分野は、機関投資家論、証券市場論、金融論、コーポレートガバナンス論。エーザイ株式会社社外取締役、ビジョン株式会社社外取締役などを務める。

日本経済新聞にも時々登場する先生ですからご存知の方もおいででしょう。経済社会を易しく解説することで定評があります。ぜひ質問してみましょう。(大坂)

2024年春 NHK朝の連続テレビ小説

「虎に翼」 校友・三淵嘉子さんが朝ドラのモデルに

日本初の女性弁護士の一で、後に裁判官となった三淵嘉子さんをモデルに、女優伊藤沙莉さんが主演をつとめる。

山泉進明治大学名誉教授によれば、幼少期に台湾銀行に勤める父親から勧められ弁護士を目指すことになったという。そして1938(昭和13)年、高等文官司法科試験に合格する。合格談では、「只管(ひたすら)不幸な方々の御相談相手として少しでも御力になりたい」「世の為、自己の最善を尽くしたい」と語ったという。

1949(昭和24)年8月裁判官となり東京地裁民事部に配属された。ただ女性裁判官の第一号は、その年4月に採用された石渡満子(法学部出身)であった。その後、1972(昭和47)年新潟家庭裁判所の所長に就任、女性として初めて裁判所長となった。(大坂)

学生支援奨学金を今年も大学へ

これまで熊本、岡山、千葉の災害時に大学を通じて緊急支援を。そして昨年はコロナ禍で苦しむ学生に対して学生支援奨学金として寄付をおこなってきた。引き続き今年も30万円寄付することに決定した。

因みに、私立大学の寄付金収入を見てみると、ダントツ1位が慶應義塾大学で約90億円(東洋経済新報社2021年度)、2位がその約3分の1で早稲田大学、15位に立教大学、そして33位に約8億円で母校明治大学が続く。

比較にならないが寄付慣行のある米国では、文科省の資料によればハーバード大学は12億8000万ドル(1ドル145円換算で1856億円)。教育・研究の充実によって世界中から優秀な人材を集めている。明治大学も海外に学生を派遣すると共に、海外から留学生の受け入れを強力に推し進めている。(大坂)

正月三が日は ラグビーと 駅伝

ラグビーの明早戦100周年を勝利で飾る。ラグビーの関東大学リーグ対抗戦は、明治が58-38で勝ち6勝1敗となった。全国大学選手権に進む。伝統の「明早戦」は1923年に始まって100周年。通算対戦成績は明治の42勝55敗2分けである。

一方、競走部は箱根駅伝予選会を2位で突破。2024年1月2日～3日に開催される本大会には、6年連続65回目の出場である。

なお、体育会競走部・サッカー部の新舎宿舎が2023年3月竣工。競走部20室とサッカー部26室の寮室に加え、各部にトレーニングルームやミーティングルーム等を完備。プレッシャーをあたえるつもりはありません。

ラグビー部・競走部ともに健闘を祈る。(大坂)

現役生寄稿

コロナ禍で始まった学生生活

政治経済学部4年 栗山 穰

私の憧れのキャンパスライフはアパートの一角の部屋でパソコンを向かいにして始まりました。地方から1人で都会へ繰り出した為に友達作りもゼロから。かといってクラスメイトとはパソコンの画面上でしか話せず、不安と心配に包まれながら授業を履修してレポートを提供する日々。家を出るのは買い物かアルバイトに行くときのみでした。何の為に大学生になって東京へ来たのだろうか。そう考えざるを得ない日々が2年間続きました。特に帰省を躊躇しなければならなかったことが、本当につらいことでした。

やがてあっという間に3年生になり、そのような日常に終止符を打つ出来事が身に降りかかってきました。ゼミナール活動です。私は食料経済学を研究するゼミに入室し、コロナも段々落ち着きが見られ、フィールドワークを活発に行いました。その中で自分が研究したいと思える場所に出会い、現在は休学をして北の大地で奮闘しながら楽しく過ごしています。将来はここで得た知識と経験を、地元秋田で居酒屋を開くという夢につなげていきたいと思っています。これからも家族や周りの人、そして出会いへの感謝の思いを決して忘れずに残りの学生生活を充実させていきます。



編集後記

ボランティアという言葉を目にする人が多い一年でした。広辞苑によれば「自ら進んで社会事業などに無償で参加する人」とある。▼この言葉が広く認知されるようになったのは阪神・淡路大震災からである。全国から大勢のボランティアが駆けつけたことから「ボランティア元年」とも呼ばれるらしい。▼年配の方は戦後間もないころの「勤労奉仕」を思い浮かべるかもしれない。これでは大分ニュアンスが違う。今では聞くことがなくなったが、「手弁当」という言葉があった。▼時と共に言葉は変わっても、消えてほしくないものもある。(大坂)



秋田県支部HP



支部長あいさつ



師走を迎えてあわただしい日々をお過ごしのことと思います。

今年を振り返れば、7月の記録的大雨、そして連日の猛暑と従前では予想もできなかった異常気象に見舞われました。記録的大雨により被害を受けられた皆さまにはあらためてお見舞い申し上げます。

校友会といたしましては、本年度の予算から社会福祉協議会を通じてお見舞い金を届けさせていただきました。

9月2日には待望の明治大学マンドリン倶楽部の演奏会をあきた芸術劇場「ミルハス」で開催いたしました。校友会はもちろんのこと、父兄会の皆さまのご協力をいた

明治大学校友会 秋田県支部長

鶴田 有司

き、2000人収容の大ホールはほぼ満席となり、大盛況のうちに幕を閉じました。

特に今回の演奏会では、SDGs「共感」と銘打ち、多くのスポンサーさまのご協力により、招待席を設置し、中高生や福祉施設を利用されている方々を招待させていただきました。

校友会、関係者が一体となり本県で11年ぶりに演奏会を開催できましたことは大きな喜びであり、感慨深いものがあります。演奏会の準備、本番を通じてまさに「明治は一つ」を実感することができました。演奏会にかかわっていただいたすべての皆さまに心から御礼申し上げます。

間もなく新しい年を迎えます。来る年が皆さまにとって良き年となりますよう祈念申し上げます。

マンドリン倶楽部秋田演奏会 11年ぶりの開催

明治大学マンドリン倶楽部秋田演奏会 実行委員長 打川 敦

長い歴史のある明治大学マンドリン倶楽部の演奏会。秋田市では11年ぶりの開催となりました。

昨年新築されたあきた芸術劇場ミルハスの2000人収容の大ホールにおいて、明治大学マンドリン倶楽部による質の高いオーケストラコンサートの鑑賞機会を提供し、満場のお客様と感動を共有し、交流拡大の機会とし、秋田県の文化芸術の発展に寄与して地域の元気を創出できた演奏会を開催できたものと思います。

SDGsの目標達成のため「共感」をシェアするコンサートと位置づけ、約300席を無料の招待席として、特に音楽を志している子どもたちへ高質な音楽文化に触れる機会をプレゼントとして提供しました。また児童養護施設などで暮らす子どもたち、体や心に障害があるハンディキャップを持つ子どもたち、老人福祉施設の入居者や利用者、施設職員にもご案内して無料チケットを提供しました。

明治大学マンドリン倶楽部の大学生など約40人、秋田南高等学校吹奏楽部の高校生約50人の合計90人が出演、校友会秋田県支部長の鶴田有司さんもマンクラOBとして出演して演奏に加わりました。入場者総数は約2000

人、チケット購入者約1200人招待者約300人“共感”シェアチケット招待者約500人という内訳でした。

明治大学校友会秋田県支部と明治大学秋田県父母会から絶大なご協力をいただき、本当にたくさんの事業所様からご協賛ご後援を賜り、秋田県芸術文化振興基金より助成をいただきながら、満場のお客様をお迎えして開催することができました。応援いただきましたすべての皆様に感謝申し上げます。



北秋明大会だより

平成元年商学部卒 **三ツ倉 秀人**

今年9月2日に秋田芸術劇場ミルハスで開催された母校マンドリン倶楽部秋田演奏会へ、私たち北秋明大会も8名で鑑賞してまいりました。私は、初めてミルハスを訪れたのですが、その素晴らしいホールに感嘆いたしました。そして、それをも凌ぐ母校マンドリン倶楽部の演奏に酔いしれることが出来ました。

北秋明大会は、昭和20年代後半より70年を越える長きに渡り、大館市・北秋田市・鹿角市・小坂町のOBを中心に、母校を想い親睦を深めてまいりました。



例年、新年会・総会・納涼会・忘年会、マンドリン倶楽部演奏会等と親睦を深め、県北地域における情報交換の場として少なからず寄与していると考えております。



学生時代を思い起こせば、あの勇壮な「グレコローマン奈良平安式」で左右対称の記念館の中を右から左まで探検したものです。記念館の筋向かいにあった師弟食堂で懐に易しく美味しい定食を食べ、夕方からは記念館横を少々下り、雀荘和光に入り浸り経済活動に勤んでおりました。そのおかげで留年し卒業式は知った顔が少なく寂しい限りでした。

同級生やサークルの先輩後輩と過ごした5年間は、それ以降の自身の人生において何物にも代えがたい糧となっております。皆さんもそうなのではないでしょうか？

時に学生時代を思い起こすのも良いものだと思う今日この頃です。

神宮会のゴルフコンペと懇親会

昭和61年政治経済学部卒 **佐藤 充**

明治大学を昭和61年に卒業した佐藤 充と申します。去る9月12日、秋田カントリー倶楽部にて東京六大学OBのゴルフコンペに参加させていただきました。当日は・・・慶応、早稲田、法政の各OBそして私の4名で、極めて数少ないレギュラー・ティーを使用しての組としてラウンドしました。

ゴルフは自然との闘いだし、判断しなくてはならない情報量も多く難しいスポーツですよね。しかしながら一緒にラウンドすると初めて会った人とでも極めて短時間で友達になれる不思議な魔法を秘めているとも思います。



さて、明治代表の私の結果は如何に・・・ですが、最初のホールでパー、ショートホールではあわやニアピン、後半2発程度のぶっ飛びドライバー・・・そこで力尽き、見どころ無しというラフな内容でした。後半のショートで私が池に入ると、他のお三方が全員池ポチャ・・・という場面もあり楽しい楽しいラウンドでした。

ゴルフの後は恒例の神宮会 懇親会とゴルフ成績発表会です。私は常に前向きな人間ですから、その日のスコアなんか気にしません(否、覚えてません)。大事なことは明日なのです・・・と自分を慰め、ビール片手に六大学のエール交歓し猛暑と酷いスコアで傷んだ体をリチャージした次第です。



収支計算書(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位:円)

収入の部	予算額	決算額	差額
I 本部より助成金収入			
1 支部総会開催通知費	135,000	134,054	946
2 支部総会場費	0	0	0
3 支部運営助成金	215,000	217,000	-2,000
4 支部公開講演会場費	0	0	0
5 講演会チラシ等作成費	0	0	0
II 支部会費収入	480,000	483,000	-3,000
III 総会費収入	0	0	0
IV 事業収入	0	0	0
V 寄付金収入	0	0	0
VI 特別寄付金収入	0	0	0
VII 果実収入	1,000	112	888
VIII 広報費	0	0	0
IX 雑収入	0	13,000	-13,000
X 基金取崩収入	0	0	0
収入合計	831,000	847,166	-16,166
前年度繰越額	1,161,615	1,161,615	0
合計	1,992,615	2,008,781	-16,166
支出の部	予算額	決算額	差額
I 事業費			
1 学生表彰費	0	0	0
2 学生団体助成金	30,000	0	30,000
3 地域支部交流費	200,000	0	200,000
4 支部公開講演会場費	0	0	0
5 寄付金(災害学生支援)	0	0	0
6 その他事業費	250,000	230,500	19,500
II 広報費			
1 支部会報発行費	360,000	379,372	-19,372
2 広報関係費	100,000	6,301	93,699
III 組織費			
1 地域支部助成金	0	0	0
IV 運営費			
1 会議費			
(1) 支部総会費	200,000	189,791	10,209
(2) 役員会費	20,000	197,618	-177,618
(3) 監査委員会費	0	0	0
(4) 委員会費	50,000	69,425	-19,425
(5) 業務費	20,000	6,520	13,480
2 事務費	60,000	67,612	-7,612
3 慶弔費	30,000	0	30,000
V 積立金	0	102	-102
VI 予備費	0	0	0
支出合計	1,320,000	1,147,241	172,759
当年度収支差額	-489,000	-300,075	-188,925
次年度繰越額	672,615	861,540	-188,925
合計	1,992,615	2,008,781	-16,166

収支予算書(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位:円)

収入の部	予算額	支出の部	予算額
I 本部より助成金収入		I 事業費	
1 支部総会通知助成	135,000	1 学生表彰費	0
2 支部総会場費	0	2 学生団体助成金	0
3 支部運営助成金	215,000	3 地域支部交流費	200,000
4 支部公開講演会場費	0	4 支部公開講演会場費	0
5 講演会チラシ等作成費	0	5 学生教育支援奨学金	300,000
II 支部会費収入	480,000	6 その他事業費	200,000
III 総会費収入	225,000	II 広報費	
IV 事業収入	0	1 支部会報発行費	380,000
V 寄付金収入	0	2 広報関係費	10,000
VI 果実収入	0	III 組織費	
VII 雑収入	0	1 地域支部助成金	0
VIII 基金取崩収入	248,545	IV 運営費	
収入合計	1,303,545	1 会議費	600,000
前年度繰越額	861,540	(1) 支部総会費	20,000
合計	2,165,085	(2) 役員会費	0
		(3) 監査委員会費	20,000
		(4) 委員会費	20,000
		(5) 業務費	60,000
		2 事務費	30,000
		3 慶弔費	0
		V 積立金	30,000
		VI 予備費	0
		支出合計	1,870,000
		当年度収支差額	-566,455
		次年度繰越額	295,085
		合計	2,165,085

大雨被害

令和4年政治経済学部卒 **今林 壮貴**

2023年7月15日土曜日。明田地下道近くのアパートの1階の私の部屋は、豪雨により床上浸水しました。

冷蔵庫やロボット掃除機のルンバなどが、汚水に浸かって駄目になってしまいました。幸い、会社の家財保険が適用され、被害分は補償されました。

秋田は、水害があまり無いため家財保険に入っていない方が多いと聞きます。異常気象が毎年発生している昨今でありますので、保険や避難場所の確認などの事前対策が必要だと改めて感じました。

皆様も、どうぞ十分に気を付けてお過ごしくださいませ。



大雨被災に 義援金

7月14日から大雨により、県内中央部を中心に広範囲に渡り多数の床上浸水が発生するなど甚大な被害が生じ、災害救助法が適用されました。

校友会秋田県支部も、この災害で被災された方々を支援するため、緊急で正副支部長会に諮り義援金30万円の支出をすることにしました。

